

平成27年度 事務事業マネジメントシート

事業名	学校用地（小学校）取得事業			会計	款	項目	大	小
				01	10	02	01	10
政策	03	3節 学び、受け継がれ、進展する流山（教育・文化の充実向上）		主管課		教育総務課		
施策	3-2	個性を生かす教育環境の基盤充実		主管課長		長橋 祐之		

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	小学校の児童、教職員及び学校施設利用者	意図	児童数が急増し、教室が不足することが予想され校舎の増築が必要になるため、学校用地の不足を補うため、隣接する土地を取得する。
事業内容	・南流山小学校の児童数の増加に対応するため、小学校校舎及びグラウンド用地として学校南側の土地を土地開発公社から買戻しをする。			
事業開始から現在までの状況変化	平成26年度から平成28年度まで継続費を設定し、平成28年度に学校用地を購入する。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成25年度	平成26年度	平成27年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①						
	②						
	③						
	④						
指標で表すことができない定性的な成果	目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）						
事務事業のコスト		平成25年度	平成26年度	平成27年度			
事務事業の総計(a=b+c)				442,515			
事業費(b)(円)				367,215			
うち一般財源				367,215			
職員給与費(c)(円)				75,300			
人役・職員(人)				0.01			
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H27)の改善計画	【新規事務事業により記載なし】
②今年度(H27)に実施した取組	【新規事務事業により記載なし】

③取組の課題	児童数増加に伴う校舎の増築計画。
④今後の改善計画	